

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

王子第五小学校 教員の『きたコン』学びのサイクル

今年度は、「GIGA 打ち合わせ会」として、「授業での『きたコン』の効果的な使い方」や「便利な使い方」、「ICT 支援員のサポート内容」などを教員間で報告し合う会を月1回放課後に設定しています。

打ち合わせの後には、教員が「きたコン」を持ち寄り、教え合っている姿が見られます。今では、自分が教わったことを、他の先生に教えるという『きたコン』学びのサイクルが自然に生まれて、授業での活用が広がっています。

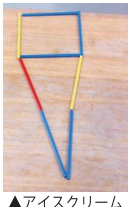
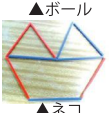
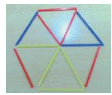


豊川小学校 特別支援学級2・3年生算数「かたちづくり」

数え棒を使って様々な形を作る活動を通して、身の回りの物の形の特徴を捉えることができるようになることを目指します。

作った形を「きたコン」のカメラで撮影して題名を付けて共有することで、自分の作品を見返せるだけでなく、いつでも友達作品を見ることが出来ます。

形を作っている途中に、その前に作った作品と見比べて何かを思いついたのか、あっという間に新しい形をつくった児童がいました。カメラ機能の効果的な活用です。



明桜中学校 1年生国語「詩の世界」

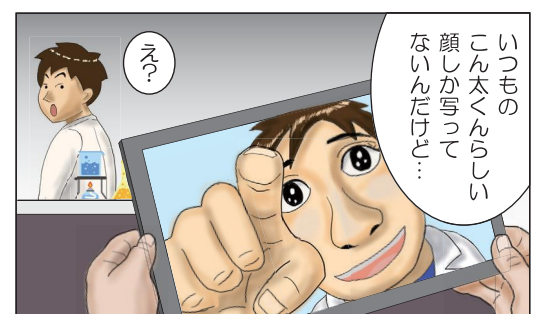
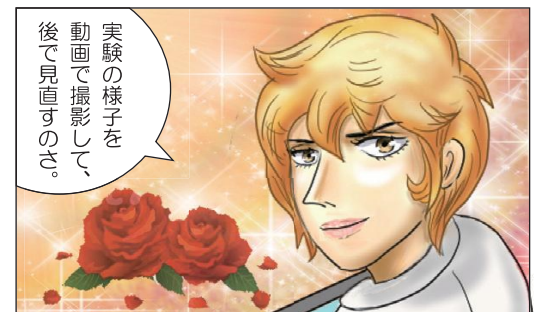
きたコンを利用した学級の事前アンケートでは、詩の学習を苦手と感じている生徒が約90%おり、その理由は「詩が何を伝えたいのか分からないから」と言うことが分かりました。

そこで、初めに個人で詩を読んで気になった言葉や疑問に思ったことなどをロイロノートに記入しました。

次に、同じ詩を選んだ生徒でグループを組み、ロイロノートを共有して話し合うことで、新しい発見をしたり共感したりしながら詩のイメージをより豊かに膨らませました。



きたちゃんコンちゃん by Toshi



「きたコン」の故障を防ぎましょう⑤

「大切にしよう! 『きたコン』 をごらんになっていただけたでしょうか。ぜひ、ご家庭でも「きたコン」の扱い方についてお子さんとお話してください。

●持ち運びはバッグに入れるか、両手で持つようにしましょう。

片手で持つと基盤がゆがみ、故障につながります。また、両手で持つと落下防止もなります。

「大切にしよう! 『きたコン』 は、こちらからご覧になれます。▶▶▶

